

平成25年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(環境省25-〇〇)

施策名	目標7-4 環境保健に関する調査研究				担当部局名	環境安全課				作成責任者名 (※記入は任意)	上田 康治	
施策の概要	健康被害をもたらしている可能性が指摘され、国民的な関心は高いが因果関係は科学的には明らかにされていない種々の環境因子について、調査研究を推進する。また、既に明らかになっている知見について、一般に分かりやすく情報提供を行い、必要な対処等を行うよう意識啓発を進める。 ①花粉症についての情報や花粉の飛散予測等について、一般に情報提供を行い、花粉症の発症・増悪の予防を進める。 ②黄砂の健康影響についての実態を明らかにし、必要に応じて適切な対応を検討する。 ③熱中症や紫外線、電磁界の健康影響について、科学的な知見を収集し、一般に普及啓発を行う。				政策体系上の位置付け	7. 環境保健対策の推進						
達成すべき目標	花粉症、黄砂の健康影響、熱中症や紫外線、電磁界の健康影響について調査研究を進めるとともに、一般に普及啓発を図る。			目標設定の考え方・根拠	国民に健康被害をもたらしていると指摘されている環境因子について調査研究を行う。				政策評価実施予定時期	平成26年6月		
測定指標	基準値		目標値	年度ごとの目標値					測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠			
	基準年度	目標年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度				
1 花粉飛散の予測モデルの精緻化及び花粉症についての普及啓発の進捗状況	-	-	-	-	-	-	-	-	-	当事業は、花粉についての情報収集及び研究を実施するほか、花粉飛散に係る予測を実施するものであるため、その成果について、目標を数値化して設定し、あるいは事後評価が可能な定性的目標を設定し、評価することは困難。		
2 黄砂による健康影響についての調査研究の進捗状況	-	-	-	-	-	-	-	-	-	当事業は、黄砂についての情報収集及び研究を実施するものであるため、その成果について、目標を数値化して設定し、あるいは事後評価が可能な定性的目標を設定し、評価することは困難。		
3 熱中症対策講習会受講者数	-	-	-	-	1194	-	-	-	-	本講習会を受講した者は、熱中症に係る知識を得たと考えられるので、受講者数は熱中症対策の普及啓発の進捗状況を判断するための指標と考えることができる。		
達成手段 (開始年度)	補正後予算額(執行額)		25年度 当初 予算額	関連する 指標	達成手段の概要等	平成25年行政事業レビュー 事業番号						
	23年度	24年度										
(1) 大気汚染物質等健康影響評価事業費 (平成21年度)	24	24	23	1, 2	<達成手段の概要> 花粉及び黄砂の健康影響についての調査・研究を実施するほか、花粉飛散についての予測等を実施し、一般へ情報提供を行う。これにより、健康影響が生じる原因やその対処方法等について国民の理解が進むとともに、事前に花粉の飛散状況等を把握することで、適切な予防を実施することができる。 <達成手段の目標(25年度)> 新たに知見を収集し一般に情報提供を行うほか、花粉飛散予測の精度を向上する。 <施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 花粉及び黄砂の健康影響について、適切な予防を実施する。	279						
(2) 環境汚染物質以外の因子に関する健康影響基礎調査費(関連24-41) (平成18年度)	3	3	3		<達成手段の概要> 熱中症や紫外線等についてのマニュアルやリーフレット等を作成し配布することにより、健康影響が生じる原因やその対処方法等について国民の理解が進み、適切に予防が実施される等の意識啓発が進む。 <達成手段の目標(25年度)> 一般の意識啓発を進める。 <施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 環境汚染物質以外の因子についての理解を深める。	280						
(3) 熱中症対策緊急推進事業 (関連24-41) (平成24年度)	-	35	35	3	<達成手段の概要> 熱中症予防に係る知識を広めるための講習会を全国で開催することで、指導者として中心的に対応できる者を養成するとともに、さらなる普及啓発を図ることができる。 <達成手段の目標(25年度)> 一般の熱中症対策についての意識を高めるとともに、地域の特性に応じた熱中症対策を進める。 <施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 熱中症についての理解を深めることにより、適切な対策を進める。	315						